

平成21年1月30日

各 位

会 社 名 株式会社 三 ツ 星
 代 表 者 名 代表取締役社長 塚本 洋一
 (J A S D A Q ・ コード 5 8 2 0)
 問 合 せ 先 執行役員経理部長 塚本 一男
 T E L 0 6 - 6 7 6 2 - 6 9 3 9

平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成20年10月31日付当社「平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期通期連結業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	11,031	△218	△276	△327	△56円73銭
今回修正予想（B）	10,249	△499	△572	△754	△130円79銭
増減額（B-A）	△782	△281	△296	△427	-
増減率（%）	△7.1	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	12,100	63	77	△13	△2円36銭

2. 平成21年3月期通期個別業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	10,243	△184	△185	△222	△38円51銭
今回修正予想（B）	9,466	△430	△428	△611	△105円99銭
増減額（B-A）	△777	△246	△243	△389	-
増減率（%）	△7.6	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期）	11,098	64	66	26	4円55銭

3. 修正理由

米国に端を発した金融危機が世界に拡大し、世界経済の悪化が進行する中、わが国においても景気の急激な悪化から製造業において操業停止や生産調整、設備投資の抑制などが顕著に表れ、経済への悪影響が深刻化すると予想されます。

売上高は、前回の予想を下回る（782百万円減）見通しです。電線事業では景気の急激な悪化と企業の設備投資の抑制などの影響が拡大し需要が減少していることや販売価格に影響の大きい銅価格が急落（12月銅建値は9月の57%減）したことなどから、前回の予想を下回る（681百万円減）見通しです。ポリマテック事業では、新設住宅着工戸数が低調に推移すると予想され、プラスチック成形品の

需要も低迷すると見込まれることから、売上高は前回予想を下回る（86百万円減）見通しです。また、電熱線事業では世界的な景気の減速から需要が低迷すると見込まれることに加え、販売価格に影響するニッケル価格が急落（12月の価格は9月の52%減）しており、顧客の当用買いの動きが顕著になるとともに、顧客からの値下げ要求がさらに強まると予想されることから、売上高は前回予想を下回る（8百万円減）見通しです。

利益面においては、役員報酬及び執行役員と管理職の給与のカットなどを10月から実施（人件費78百万円減）するとともに、受注量の変化に対応させた生産体制による効率性の改善や原材料の購買方法の見直しによるコストダウン、またたな卸資産の圧縮を図るなど、あらゆる経費の削減に取り組んでおります。しかしながら、上記減収による影響や銅とニッケルの価格が急落し顧客からの電線と電熱線の値下げ要求が強まることやたな卸資産の評価損が発生することなどから営業利益が減少（281百万円減）する見通しです。また、急激に進行する円高の影響により為替差損が10百万円増加することや、繰延税金資産を取り崩し法人税等調整額に173百万円を計上することにより、前回の予想を下回る見通しとなりました。これらの状況を受けて、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益の予想を修正いたしました。

4. 平成21年3月期配当予想の修正

(1) 修正内容

	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想(平成20年10月31日)	—	0円00銭	—	4円00銭	4円00銭
今回修正予想	—	—	—	0円00銭	0円00銭
前期(平成20年3月期)実績	—	0円00銭	—	8円00銭	8円00銭

(2) 修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、財務体質及び経営基盤の強化を図り、合わせて将来の事業展開を勘案し、適正な内部留保との調和を図り、安定的な利益配当を継続し、連結業績を考慮しながら実施することを基本方針としております。

しかしながら、ここ数ヶ月の事業環境の悪化は予想を大きく上回り、平成21年3月期の第3四半期実績及び通期業績予想が前回予想より大幅に悪化することから、誠に不本意ではございますが平成21年3月期の期末配当予想を無配とさせていただきたく存じます。

株主の皆様には、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げますとともに企業価値の向上及び収益体質の早期回復に向け、更なる経営努力を重ねてまいりますので、何卒、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

以 上